

## 米国 I S M製造業景気指数 (12年10月)

発表日：2012年11月1日 (木)

～生産や新規受注の拡大により予想に反し上昇、製造業部門の拡大ペースの小幅加速を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

### I S M製造業景気指数 は51.7と前月比0.2% ポイント上昇

10月のI S M製造業景気指数は、51.7と市場予想に反し前月比0.2%ポイント上昇した(市場予想中央値51.0、当社予想52.2)。また、拡大縮小の分岐点である50を2ヵ月連続で上回っており、製造業部門が拡大ペースを小幅加速したことを示唆している。欧州債務問題等による世界経済減速の影響を受けながらも、国内需要の成長を背景に新規受注が上昇したほか、生産が拡大に転じたことで全体を押し上げた。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、雇用(前月比▲0.5%ポイント)、在庫(前月比▲0.1%ポイント)、入荷遅延(前月比▲0.1%ポイント)が押し下げ寄与となった一方、生産(前月比+0.6%ポイント)、新規受注(前月比+0.4%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+0.2%ポイント上昇した。

I S M製造業景気指数は、6、7、8月に軽微な調整を示す水準に低下したが、足下2ヵ月連続で緩やかな拡大を示す水準に回復している。

I S M製造業景気指数の推移

|       | 総合   | 新規受注 | 生産   | 雇用   | 在庫   | 入荷遅延 | 受注残  | 仕入価格 | 輸出受注 | 輸入   |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 12/01 | 54.1 | 57.6 | 55.7 | 54.3 | 49.5 | 53.6 | 52.5 | 55.5 | 55.0 | 52.5 |
| 12/02 | 52.4 | 54.9 | 55.3 | 53.2 | 49.5 | 49.0 | 52.0 | 61.5 | 59.5 | 54.0 |
| 12/03 | 53.4 | 54.5 | 58.3 | 56.1 | 50.0 | 48.0 | 52.5 | 61.0 | 54.0 | 53.5 |
| 12/04 | 54.8 | 58.2 | 61.0 | 57.3 | 48.5 | 49.2 | 49.5 | 61.0 | 59.0 | 53.5 |
| 12/05 | 53.5 | 60.1 | 55.6 | 56.9 | 46.0 | 48.7 | 47.0 | 47.5 | 53.5 | 53.5 |
| 12/06 | 49.7 | 47.8 | 51.0 | 56.6 | 44.0 | 48.9 | 44.5 | 37.0 | 47.5 | 53.5 |
| 12/07 | 49.8 | 48.0 | 51.3 | 52.0 | 49.0 | 48.7 | 43.0 | 39.5 | 46.5 | 50.5 |
| 12/08 | 49.6 | 47.1 | 47.2 | 51.6 | 53.0 | 49.3 | 42.5 | 54.0 | 47.0 | 49.0 |
| 12/09 | 51.5 | 52.3 | 49.5 | 54.7 | 50.5 | 50.3 | 44.0 | 58.0 | 48.5 | 49.5 |
| 12/10 | 51.7 | 54.2 | 52.4 | 52.1 | 50.0 | 49.6 | 41.5 | 55.0 | 48.0 | 47.5 |

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

### 拡大した業種は8業種 に減少

活動の拡大した業種数は、全18業種中8業種(前月11業種)と減少した一方、縮小した業種は8業種(前月6業種)に増加した。拡大した業種は、石油・石炭、家具・同関連製品、アパレル・皮革・関連製品、紙製品、その他製造業、食品・飲料・タバコ、プラスチック・ゴム、化学製品。

新規受注の拡大した業種数は5業種(前月8業種)に減少した。新規受注で拡大した5業種(8業種が縮小)は、家具・同関連製品、食品・飲料・タバコ、紙製品、コンピューター・電子機器、その他製造業。

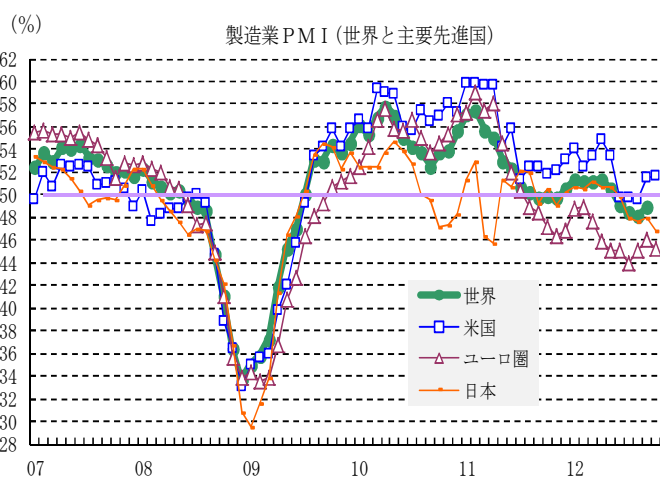
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

生産は6業種の拡大にとどまった。生産で拡大した6業種（7業種が縮小）は、家具・同関連製品、アパレル・皮革・関連製品、紙製品、石油・石炭、コンピューター・電子機器、その他製造業。

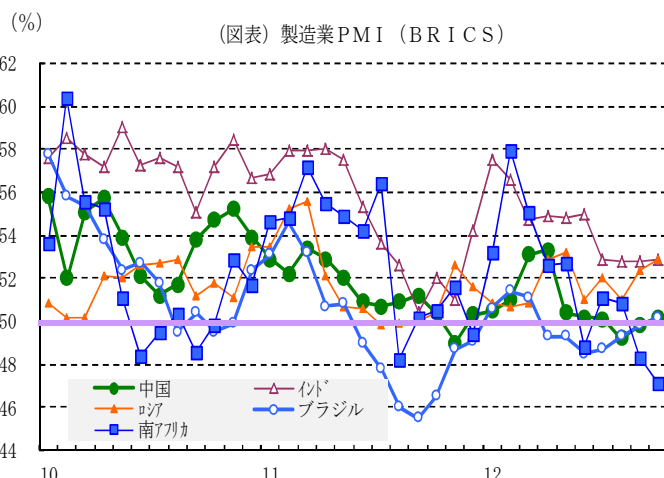
(注) 下線は拡大を続けた業種

### 10月の世界の製造業PMIは小幅上昇も50割れが続く見込み

10月の世界製造業PMIは49.3（前月48.9）と前月から上昇するものの、5ヵ月連続の50割れを予想する。欧州債務問題などによって、グローバルな製造業部門の調整が続いている。既に公表された国の動向をみると、50を下回った国は、日本、ユーロ圏、英国、スウェーデン、ノルウェー、豪州、韓国、台湾、中国（中小企業中心）、南アフリカ、ポーランド、ベトナムなど。一方、50を上回った国は、米国、中国（国有企業中心）、デンマーク、インド、ロシア、ブラジル、トルコなど。



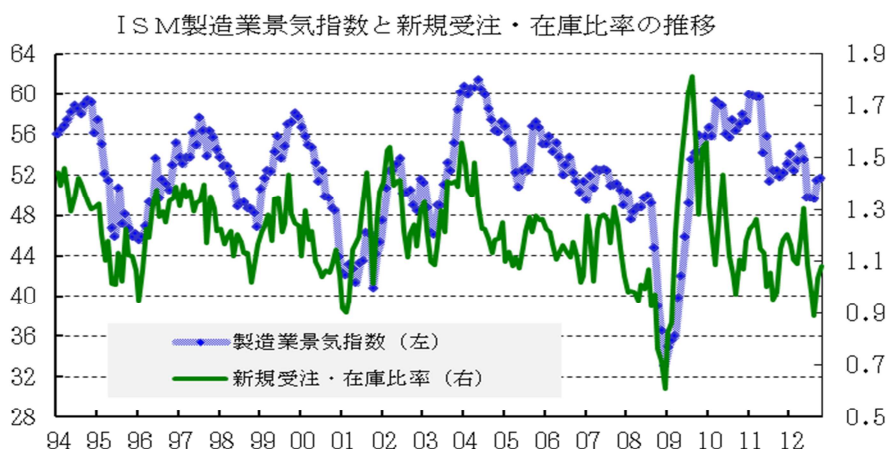
(出所) ISM, Markit Economics



(出所) Markit

### ISM製造業景気指数は50を上回って推移する見込み

今後に関しては、欧州債務問題による世界経済減速の影響を受けるものの、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、緩やかながらも持続する米国内需要の成長などに下支えされよう。また、トレンドの変化に先行する新規受注・在庫比率が上昇しており、今後もISM製造業景気指数は製造業部門の拡大を示す水準を維持すると予想される。



(出所) ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

**輸出の拡大ペース鈍化を示唆**

輸出受注D Iは、10月に48.0と前月比0.5%ポイント低下し、50を下回ったまま。ユーロ圏、日本、英国、韓国、台湾などの製造業部門の縮小、世界経済の減速により、今後米国の輸出が前年比ベースで減少に転じる可能性が高い。オバマ政権による5年で輸出倍増計画の達成に黄色信号が点灯している。

**各国の米国向け輸出は今後再加速する可能性**

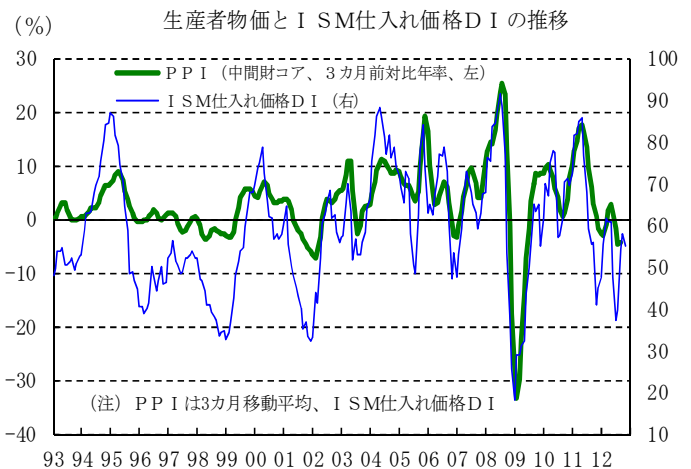
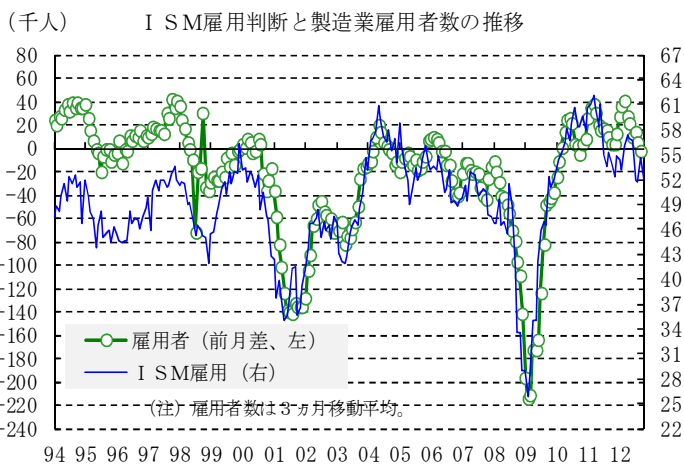
輸入D Iは、10月に47.5と50を3ヶ月連続で下回ったうえ、前月比2.0%ポイント低下した。一方で、新規受注D Iが54.2と50を上回り、前月から1.9%ポイント上昇したことから、日本など先進国のほか、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースは今後再加速する可能性が高い。

**雇用D Iは52.1と製造業雇用の減少持続を示唆**

雇用D Iは、10月に52.1と前月比2.6%ポイント低下したことから、10月の製造業部門雇用者数の減少持続を示している。米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

**仕入価格D Iは55.0と低下しており、川中でのインフレ圧力は弱いまま**

仕入価格D Iは、10月に55.0と前月比3.0%ポイント低下し、川中でのインフレ圧力の再低下を示唆している。水準も低いことから、川中でのインフレ圧力は弱いままと判断される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。